

2017 年度「ネオニコチノイド系農薬に関する企画」 助成公募決定のお知らせ

一般社団法人アクト・ビヨンド・トラストが公募した「ネオニコチノイド系農薬に関する企画」追加助成について、計 2 件の企画が採択されました。選考委員についても併せてご紹介いたします。

2017 年度「ネオニコチノイド系農薬に関する企画」

助成公募選考委員（あいうえお順）

- 後藤和明（らでいっしゅぼーや農産部長、Radix の会常務理事）
- 田中 優（未来バンク事業組合理事長）
- 古瀬繁範（地球と未来の環境基金理事長）
- マエキタミヤコ（サステナ代表）
- 宮田秀明（摂南大学名誉教授／環境科学、食品衛生学、公衆衛生学）
- 安田節子（食政策センター ビジョン 21 主宰人）
- 山田敏郎（金沢大学名誉教授／化学工学、蜂群崩壊症候群研究）
- 星川 淳（アクト・ビヨンド・トラスト代表理事）

「ネオニコフリー生産者消費者・リレー学習会の開催」

生活協同組合連合会 コープ自然派事業連合（申請者：鎌田妙子）

助成金額：520,000 円 【広報・社会訴求部門】

ネオニコチノイド系農薬がミツバチだけでなく生態系全体や人間に悪影響を広く及ぼすことを消費者、生産者の参加する学習会で共有し、生産現場でのネオニコフリーを実現したい。しかし現場ではネオニコ農薬を削減することに不安も多く取り組みが進んでいない。各地で先進的に取り組む生協とのネットワークの中で生産者と消費者と情報交流するなかで、ネオニコフリーへの機運をつくっていききたい。

「情報発信ツールを用いたネオニコチノイド系農薬の認知度向上と情報収集の場の提供」

公益財団法人みやぎ・環境とくらしネットワーク 食部会（申請者：菅原哲平）

助成金額：549,500 円 【広報・社会訴求部門】

2015 年度に貴団体助成金を活用して実施したアンケート式意識調査で、一般市民のネオニコチノイド系農薬（以下農薬）に関する知識・理解不足が判明した事実を鑑み、農薬全般の情報提供と知識・理解の向上が第一の課題と考えた。解決方法として、農薬とミツバチをテーマにした紙芝居の作製・上演、果樹栽培農家や養蜂園見学を通じた生産現場の生の情報収集と体験、の 2 つを企画し、幅広い世代に対して情報収集と体験の場を提供する。